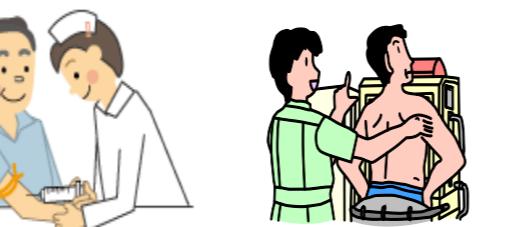
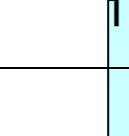


ID:

様 入院診療計画書 病名/症状(

)直腸低位前方切除を受けられる方へ

	手術前日(/)	手術当日前(/)	手 術 後	術後1日目(/)	術後2日目(/)	術後3日目(/)	術後4日~7日目(/)~(/)	退院(/)
検査	身長・体重測定があります	手術着に着替えます 	酸素マスク、心電図、血圧計などを装着します	採血・レントゲンがあります 	採血があります 	術後7日目に採血があります	術後4日目に体重測定があります	午前中退院予定です 
処置		必要に応じて手術室で剃毛します	お腹に管(ドレーン)が入ってきます 状態に応じて創部の付替えをします				お腹の管(ドレーン)が抜けます(経過により前後します)	
薬注射	入院後と眼前に下剤を内服します 状況に応じ薬剤師が説明します 点滴をします 	朝の内服は中止又は変更になります 10時以降手術の時は点滴を開始します			状況により抗凝固剤の皮下注射があります			
食事	入院後より絶食です 21時以降は絶水です ★術前食がある場合は翌朝6時まで摂取できます 	絶飲食です 		医師の診察後、飲水が可能となります 	経過を見ながら食事が始まります			
	特別な栄養管理の必要性	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> (どちらかに○)						
疼痛			背中の管、または点滴で痛み止めの薬が入ります 痛みの強い時は鎮痛剤を追加使用します 	背中の痛み止めの管を抜きます				
清潔	シャワー浴ができます			タオルで体を拭きます	管が抜けたらシャワーに入れます			
活動	病院内は自由です 		ベッド上安静です	状態に応じて院内を自由に動けます				
排泄			手術中に尿の管を入れます	尿の管が抜けます 尿の管が抜いて、最初に出た尿は尿器にとって看護師にお知らせ下さい				
リハビリ				「総合実施計画書」を作成し、リハビリを開始いたします 手術後の活動領域を広げるためにリハビリを開始します ベッドサイドで座位を取る練習を行います	リハビリ室で歩く練習を行います			
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾患有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います							
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします							
説明	看護師より入院中のスケジュールについて説明があります 		主治医より手術の結果について説明があります 					看護師が退院後の説明を行います
その他	当院での治療後、転院先などに関するご希望を伺います (入退院支援センター) 手術の経過により退院調整を進めていきます			診断書が必要な方は、診断書窓口へ依頼して下さい 				

この予定表は、患者さんの状態に応じて変わることがあります。
何かご質問があれば看護師にお尋ねください。

主治医 _____ 年 _____ 月 _____ 日
看護師 _____ 年 _____ 月 _____ 日

管理栄養士 _____
セラピスト _____

患者署名 _____ 年 _____ 月 _____ 日
代諾者署名 _____ (続柄) 年 _____ 月 _____ 日

薬剤師 _____